

ダレル・スコット牧師：トランプは私の生涯で最もプロ黒人の大統領だ

黒人牧師がミシガン州の円卓会議で大統領を称える

【Gretchain】

最も「プロ黒人の大統領」とは「最もプロアクティブ」すなわち、積極的に黒人の身になってくれるという意味だと、この牧師は言っている。トランプ大統領としては、これが自然の行動であって、黒人だけでなく、人民全体に同じ態度を取っているものと思われる。スコット牧師が、これを生まれて初めてののこととして体験したということは、いかにアメリカの民主主義が本物でなかったかを示している。

これで、トランプが、あの就任演説の冒頭で言った、「ワシントン DC を人民の手に取り戻す」ということが、本当であったことがわかる。これに反して、ジョー・バイデンの黒人侮辱発言は、アメリカ民主主義の地金を表すものである。トランプが、これだけしつこく「ヒトラー」とか「ファシスト」などと呼ばれるのは、ジョー・バイデンこそ、アメリカの正しい姿だと思っている者が少なくないということであろう。これは信じられないことだが、歪められたアメリカの真実である。

Jack Murphy @NeonNettle

May 24, 2020



「私はアイゼンハワー政権の下で生まれたが、現大統領が、私の生涯で、最もプロ・ブラックの大統領だった」と、スコットは述べた

ダレル・スコット牧師は、ドナルド・トランプ大統領を褒め、彼の生涯で、黒人社会にとって、トランプが最高の大統領だったと言った。

これが 12 代目の大統領だというスコットは、木曜日、ミシガン州イプシランティのある円卓会議において、この積極的な発言をした。

「私は前にも、恥じることなくこの発言をしました。そしてもう一度それを言います。現在の大統領が——実は、私は 12 代の大統領政権を生きてきたのですが——」と、スコットは、アメリカ-アフリカ指導者のいる、リスニング・セッションで話した。

「私はアイゼンハワー政権の時に生まれましたが、現大統領は、私の生涯で最もプロ・ブラックの大統領でした」と彼はつけ加えた。

「しかし私が“プロ”というのは、“プロアクティブ”という意味です。」(注：支持するかしないかの支持でなく、**積極的支持**ということ)

「彼はプロアクティブでした。私の生涯の、他のどんな大統領よりもそうであり、彼は、少数者に対して反動的とか、冷淡とか、不利に計らうということはなかった。」



この出来事は、ジョー・バイデンが、自分を支持しないアフリカ・アメリカ人は「黒人ではない」と言ったことで、ひどい反撃を受けた一日前に起こった

「ミスター・プレジデント、私は、歴史はあなたに対して、今日、フェイクニュース・メディアが言っているより、やさしく動くと思いますよ」とスコットは言った。

「これ以上に悪くなることはないだろう」と、大統領は冗談を言って、礼を述べた。

そこに列席していた人々には、「住宅と郊外開発局」長官 Ben Carson と、「ホワイトハウス Opportunity Revitalization 顧問」 Scott Turner がいた。

「我々の国家が目に見えない敵と戦っている間に、アフリカ・アメリカ共同体は、デトロイトを含めて、ひどく激しく撃たれたのだ」と、大統領は、このイベントの間に言った。

「ご存知のように、この国のある領域は、いま非常に厳しい時を迎えている。デトロイトはその一つにすぎない」と彼は言った。

「私の政府は、これらの共同体に物資や食糧を急いで送り、またすべてのアフリカ-アメリカ人、すべての全米人の、健康、安全、経済的機会を保護するために、苛酷な仕事をしている。」



この出来事は、仮の民主党大統領候補ジョー・バイデンが、自分を支持しないアフリカ-アメリカ人は「黒人でない」と言ったために激しく叩かれた、一日後のことである。

「もしあなた方が、私にするか、トランプにするか迷ったりするなら、あなた方は黒人ではない」とバイデンは言った。

バイデンは後に、激しい非難を浴びて、このコメントを取り消した。

黒人の保守派コメンテーターCandice Owens は、この前副大統領のコメントは、いかに民主党の見方が、「黒人を訓練されたチンパンジーと見ているかを示すものだ」と、言った。...

——以上

